

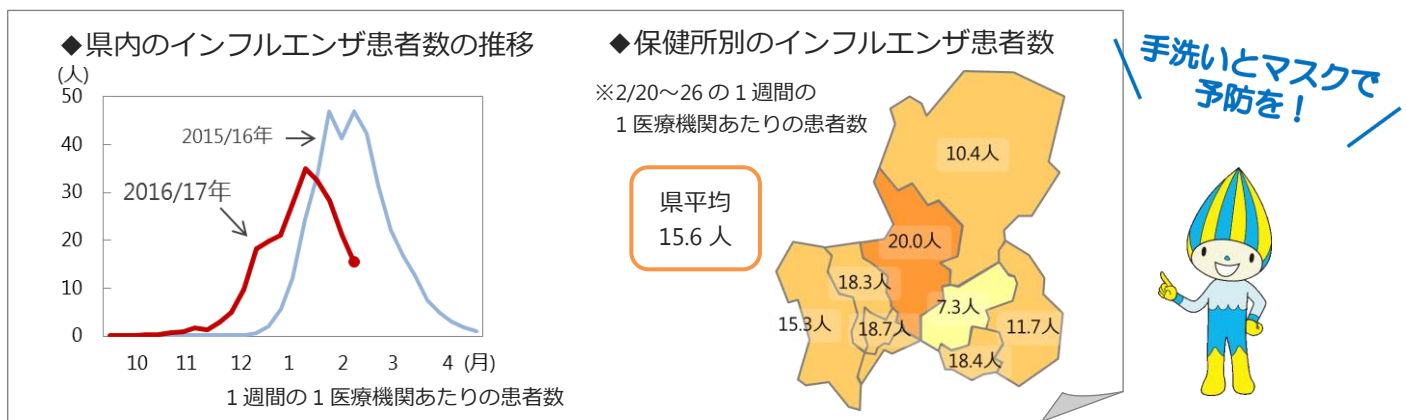
# ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 3 月 3 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## インフルエンザにまだしばらく注意しましょう！

県内のインフルエンザの患者数は、1月下旬をピークに減少傾向ですが、現在も流行は続いており、インフルエンザ警報が発令中です。学級・学年閉鎖もまだ多くの学校で行われていますので、しばらくは注意が必要です。今シーズンは、これまでのところ A 型インフルエンザにかかる人がほとんどで、B 型インフルエンザにかかる人が少ないことが特徴です。



インフルエンザは、感染している人の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染や、ウイルスの付いた手指などを介した接触感染によってうつります。予防のためには、手洗いや咳エチケットなど、一人ひとりの心がけが大切です。

### かからないために

- 外出後は手洗いを徹底する  
アルコール製剤による消毒も効果があります
- 栄養と睡眠を十分にとる
- 部屋の中は適度な湿度を保つ
- なるべく人ごみを避け、やむを得ず外出する場合はマスクを着ける



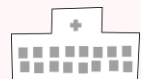
### ほかの人にうつさないために

- 熱や咳などの症状がでたら早めに受診する
- インフルエンザと診断されたら安静にして休養する
- 咳が出るときはマスクを着用し、咳エチケットを守る



### 重症になりやすい方

高齢の方、妊娠中の方、小さいお子さん、呼吸器や心臓などに持病のある方などは、早めの受診を心がけましょう



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

